

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備	夜・通信	1,946.4	160	
	1級自動車整備	夜・通信	3,996.8	320	
工業専門課程	車体整備	夜・通信	2,918.4	240	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm 学園ホームページ 情報公開 職業実践専門課程の基本情報
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm) で公開する
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社 相談役	令和3.4.1～ 令和6.3.31	企画
非常勤	一般企業 社取締役	令和3.4.1～ 令和6.3.31	コンプライアンス
非常勤	一般企業 支店長	令和3.4.1～ 令和6.3.31	労務
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、到達目標、成績評価に準ずる。 ・職業実践委員会8月・3月にて協議し変更がある場合、新しい授業計画(シラバス)を作成し国土交通省に提出する。 ・日本自動車整備振興会連合会発行による教科書の改訂があった場合、新しい授業計画(シラバス)を作成し国土交通省に提出する。毎年8月にシラバスを公表する。 	
授業計画書の公表方法	http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm 学園ホームページ 情報公開 職業実践専門課程の基本情報
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。 ・学則第11条(成績評価)に定める、授業科目の成績評価は、学期末において行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し行う。 ・各教科の終了は、次のとおりである。全科目の履修時間が学則第9条別表1に定める授業時数の100%である者となる。 ・進級及び卒業の確定は、素行状況並びに学科教科及び実習教科が修了したもので総合して校長が行う。 	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、あらかじめ設定した算出方法により、生徒ごとに履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の平均を算出する。また、その平均成績の分布と下位1/4に該当する人数及びその指標の数値を学科、学年ごとに算出している。国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の試験による成績+実務作業+人物評価+出席状況+授業態度+レポート評価の総合基準に準ずる。 ・学則第11条(成績評価)に定める、授業科目の成績評価は、学期末において行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し行う。 ・各教科の合格は100点満点による70点以上とする。 ・再試験で合格した者には70点と記録する。 ・教科の出席率(補習を含む)が100%未満のものは、成績を記録しない。 ・試験は、学科については筆記試験、実習については実技試験を行う。ただし、場合によっては、口頭試問若しくは研究調査報告をもって、これに代えることができる。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm 学園ホームページ 情報公開 職業実践専門課程の基本情報</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価を基に卒業認定を実施する。 ・進級及び卒業の確定は、素行状況並びに学科教科及び実習教科が修了したもので総合して校長が行う。 ・各教科の修了は、次のとおりである。全科目の履修時間が学則第9条に定める授業時数の100%である者となる。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm 学園ホームページ 情報公開 職業実践専門課程の基本情報</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html
財産目録	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
事業報告書	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け・閲覧・配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,986.4 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		763 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1223.4 単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		41人	0人	13人	2人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施する。
学修支援等
（概要） ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 (100%)	0人 (%)	30人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等）茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ 自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネッツトヨタ茨城、ネッツトヨタ水戸、 トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自 動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売等			
（就職指導内容） 主催する企業の会社訪問を必須とし採用試験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、 実習試験対策として実習作業指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級自動車整備士、危険物乙種第4類取扱者の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	2人	3.9%
（中途退学の主な理由） ・授業についていけない、思っていたのと違う、欠席が多く進学を断念等。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学力においては補習を対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。 ・悩みを抱える学生に対しカウンセラーによる相談窓口を設けている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	1級自動車整備		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,076.8 単位時間/単位	1289 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2787.8 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		12人	0人	13人	2人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設に関する1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。 授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。 	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設に関する1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。 	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設に関する1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。 	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 担任制度（副担任含む）。 未履修時限、未履修授業科目のサポート。 	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (%)	9人 (100%)	0人 (%)
<p>（主な就職、業界等）茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネットトヨタ茨城、ネットトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>主催する企業の会社訪問を必須とし採用試験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、実習試験対策として実習作業指導等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>2級自動車整備士、1級小型自動車整備士、危険物乙種第4類取扱者の受験資格</p>			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	車体整備	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,978.4 単位時間/単位	1041 単位時間/単位		1937.4 単位時間/単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		14人	0人	13人	2人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。 授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 担任制度（副担任含む）。 未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (%)	4人 (100%)	0人 (%)
<p>(主な就職、業界等) 茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネッツトヨタ茨城、ネッツトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>主催する企業の会社訪問を必須とし採用試験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、実習試験対策として実習作業指導等</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>2級自動車整備士、車体整備士、危険物乙種第4類取扱者の受験資格</p>			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車	150000 円	600000 円	730000 円	その他 (実習費 250,000 円、 施設設備費 250,000 円、教材 費・学校行事費 230,000 円)
車 体	150000 円	600000 円	730000 円	
1 級	150000 円	600000 円	730000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm 学園ホームページ情報公開 職業実践専門課程の基本情報		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育課程編成委員会を通期開催し審議する案件を協議し教育活動を決定する。年度末、学校自己評価報告書に基づき企業からの選抜された委員により、学校関係者評価委員による評価をつけてもらい、次年度の改善等を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
茨城大学理学部教授	2021年4月1日～ 2023年3月31日	有識者
茨城ダイハツ販売株式会社 総務・経理課部長	2018年11月1日～ 2022年3月31日	企業関係者
株式会社スズキ自販茨城 サービス本部長	2018年11月1日～ 2022年3月31日	企業関係者
茨城トヨペット株式会社 人事課 課長	2018年11月1日～ 2022年3月31日	企業関係者
株式会社北関東マツダ 採用グループ次長	2018年11月1日～ 2022年3月31日	企業関係者
茨城トヨタ自動車株式会社 人事課 主任	2018年11月1日～ 2022年3月31日	企業関係者
日産プリンス茨城販売株式会社 サービス部部長	2018年11月1日～ 2022年3月31日	企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mito.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.htm 学園ホームページ 情報公開 職業実践専門課程の基本情報

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				一人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

*添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」

令和2年度

客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） *单元テスト1回目の单元成績を算出						
学科名	自動車整備学科	学 年	1	学生数	21	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	2	4	15
下位1/4に該当する人数 5人 下位1/4に該当する指標の数値 81点以下						

客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） *单元テスト1回目の单元成績を算出						
学科名	自動車整備学科	学 年	2	学生数	30	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	3	6	3	6	7	5
下位1/4に該当する人数 8人 下位1/4に該当する指標の数値 50.7点以下						

客観的な指標の算出方法

履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）

* 単元テスト1回目の単元成績を算出

学科名	車体整備学科	学 年	1	学生数	4
-----	--------	-----	---	-----	---

成績の分布

指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	0	2	2

下位1/4に該当する人数 1人

下位1/4に該当する指標の数値 82点以下

客観的な指標の算出方法

履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）

* 単元テスト1回目の単元成績を算出

学科名	車体整備学科	学 年	2	学生数	3
-----	--------	-----	---	-----	---

成績の分布

指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	1	0	0	2

下位1/4に該当する人数 1人

下位1/4に該当する指標の数値 66点以下

客観的な指標の算出方法

履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）

* 単元テスト1回目の単元成績を算出

学科名	車体整備学科	学 年	3	学生数	4
-----	--------	-----	---	-----	---

成績の分布

指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	0	1	3

下位1/4に該当する人数 1人

下位1/4に該当する指標の数値 88点以下

客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） * 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	1級自動車整備学科	学 年	1	学生数	3	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	0	0	3
下位1/4に該当する人数 1人 下位1/4に該当する指標の数値 91点以下						
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） * 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	1級自動車整備学科	学 年	2	学生数	4	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	0	1	3
下位1/4に該当する人数 1人 下位1/4に該当する指標の数値 85点以下						
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化） * 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	1級自動車整備学科	学 年	3	学生数	4	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	1	3	0
下位1/4に該当する人数 1人 下位1/4に該当する指標の数値 80点以下						

客観的な指標の算出方法

履修科目、全科目合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）

* 単元テスト1回目の単元成績を算出

学科名	1級自動車整備学科	学 年	4	学生数	9	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51 ～60点	61 ～70点	71 ～80点	81 ～90点	91 ～100点
人 数	0	0	0	0	0	9
下位 1/4 に該当する人数 2人						
下位 1/4 に該当する指標の数値 99点以下						

実務経験のある教員等による授業科目一覧

<自動車整備学科>

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
基礎自動車工学	沼口洋・近馬克之・芹田里美	15	○
ガソリン1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	25	○
ガソリン2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	7	○
ガソリン3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	14	○
ガソリン4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
ジーゼル1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	7	○
ジーゼル2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	23	○
ジーゼル3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	13	○
ジーゼル4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	22	○
シャシ1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	16	○
シャシ2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	30	○
シャシ3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	11	○
シャシ4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
シャシ5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	23	○
力数 1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	23	○
力数 2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
力数 3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
力数 4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
電子工学 1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	16	○
電子工学2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	25	○
電子工学3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	9	○
電子工学4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
電子工学5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
材料	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
燃料・潤滑	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
図面	大森秀幸・今井俊之・今川義光	11	○
自動車工学演習	大森秀幸・今井俊之・今川義光	20	○
ガソリン5	沼口洋・近馬克之・芹田里美	17	○
ガソリン6	沼口洋・近馬克之・芹田里美	10	○
ジーゼル5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	20	○
シャシ6	沼口洋・近馬克之・芹田里美	22	○
シャシ7	沼口洋・近馬克之・芹田里美	10	○
シャシ8	大森秀幸・今井俊之・今川義光	11	○
シャシ9	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
電子工学6	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
故障探求	大森秀幸・今井俊之・今川義光	15	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
自動車整備演習	大森秀幸・今井俊之・今川義光	50	○
整備機器	沼口洋・近馬克之・芹田里美	13	○
測定	沼口洋・近馬克之・芹田里美	12	○
検査機器	沼口洋・近馬克之・芹田里美	12	○
検査	大森秀幸・今井俊之・今川義光	24	○
法令 I	沼口洋・近馬克之・芹田里美	11	○
法令 II	大森秀幸・今井俊之・今川義光	15	○
(情報技術1)	小幡 知史	20	
(情報技術2)	小幡 知史	20	
(文書技法1)	沼口洋・近馬克之・芹田里美	20	○
(倫理社会1)	沼口洋・近馬克之・芹田里美	5	○
機械工作作業	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
計測作業	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
エンジン本体	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
G噴射装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ジーゼル整備	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
特殊機構1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
二輪2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
重整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
タイヤ整備	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
動力伝達装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ステアリング装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ブレーキ装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
サスペンション	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
トラック整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
A/T	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
特殊機構2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
基本点検作業	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
基礎電気	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
電気装置1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
電気装置2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
エアコンシステム	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
車体電装1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
車体電装2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○
ガソリン診断	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
故障探求	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目	
問診整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○	
二輪車検整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○	
車検整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○	
単位時間総数		1986.4	実務経験のある教員等による授業科目単位時間	1946.4単位時間

実務経験のある教員等による授業科目一覧

<一級自動車整備学科>

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
基礎自動車工学	沼口洋・近馬克之・芹田里美	15	○
ガソリン1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	25	○
ガソリン2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	7	○
ガソリン3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	14	○
ガソリン4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
ジーゼル1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	7	○
ジーゼル2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	23	○
ジーゼル3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	13	○
ジーゼル4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	22	○
シャシ1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	16	○
シャシ2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	30	○
シャシ3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	11	○
シャシ4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
シャシ5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	23	○
力数 1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	23	○
力数 2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
力数 3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
力数 4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
電子工学 1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	16	○
電子工学2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	25	○
電子工学3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	9	○
電子工学4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
電子工学5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
材料	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
燃料・潤滑	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
図面	大森秀幸・今井俊之・今川義光	11	○
自動車工学演習	大森秀幸・今井俊之・今川義光	20	○
ガソリン5	沼口洋・近馬克之・芹田里美	17	○
ガソリン6	沼口洋・近馬克之・芹田里美	10	○
ジーゼル5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	20	○
シャシ6	沼口洋・近馬克之・芹田里美	22	○
シャシ7	沼口洋・近馬克之・芹田里美	10	○
シャシ8	大森秀幸・今井俊之・今川義光	11	○
シャシ9	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
電子工学6	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
故障探求	大森秀幸・今井俊之・今川義光	15	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
自動車整備演習	大森秀幸・今井俊之・今川義光	50	○
整備機器	沼口洋・近馬克之・芹田里美	13	○
測定	沼口洋・近馬克之・芹田里美	12	○
検査機器	沼口洋・近馬克之・芹田里美	12	○
検査	大森秀幸・今井俊之・今川義光	24	○
法令Ⅰ	沼口洋・近馬克之・芹田里美	11	○
法令Ⅱ	大森秀幸・今井俊之・今川義光	15	○
(情報技術1)	小幡 知史	20	
(情報技術2)	小幡 知史	20	
(文書技法1)	沼口洋・近馬克之・芹田里美	20	○
(倫理社会1)	沼口洋・近馬克之・芹田里美	5	○
機械工作作業	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
計測作業	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
エンジン本体	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
G噴射装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ジーゼル整備	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
特殊機構1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
二輪2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
重整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
タイヤ整備	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
動力伝達装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ステアリング装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ブレーキ装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
サスペンション	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
トラック整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
A/T	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
特殊機構2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
基本点検作業	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
基礎電気	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
電気装置1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
電気装置2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
エアコンシステム	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
車体電装1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
車体電装2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○
ガソリン診断	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
故障探求	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
問診整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪車検整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○
車検整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○
自動車工学1	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	10	○
自動車工学2	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	25	○
自動車工学3	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	25	○
電子工学	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	50	○
エンジン工学	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	26	○
システム工学1	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	30	○
システム工学2	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	33	○
システム工学3	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	24	○
システム工学4	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	55	○
高度故障診断技術1	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	16	○
高度故障診断技術2	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	16	○
総合診断	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	10	○
環境保全論	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	10	○
安全管理学	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	10	○
自動車機器	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	18	○
法令	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	12	○
自動車概論	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	80	○
情報技術3	長谷川福子	20	
環境論	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	30	○
経営学	宮部原一郎	20	
工作作業	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	14	○
自動車検査	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	6	○
測定作業	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	14	○
エンジン本体G	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
エンジン本体D	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
特殊機構	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
燃料装置G	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
燃料装置D	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
動力伝達	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
ステアリング装置	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
ブレーキ装置	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
サスペンション	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
基礎電装	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
応用電装	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○
故障探究1	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目	
故障探究2	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	42	○	
故障探究3	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	35	○	
検査作業	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	24.4	○	
ビジネスマナー	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	14	○	
体験実習	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	210	○	
基礎実習	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	35	○	
総合実習	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	602	○	
卒業研究	雨谷俊宏・平根清一・沼口洋	70	○	
単位時間総数		4076.8	実務経験のある教員等による授業科目単位時間	3996.8単位時間

実務経験のある教員等による授業科目一覧

<車体整備学科>

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
基礎自動車工学	沼口洋・近馬克之・芹田里美	15	○
ガソリン1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	25	○
ガソリン2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	7	○
ガソリン3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	14	○
ガソリン4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
ジーゼル1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	7	○
ジーゼル2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	23	○
ジーゼル3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	13	○
ジーゼル4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	22	○
シャシ1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	16	○
シャシ2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	30	○
シャシ3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	11	○
シャシ4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
シャシ5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	23	○
力数 1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	23	○
力数 2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
力数 3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
力数 4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
電子工学 1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	16	○
電子工学2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	25	○
電子工学3	沼口洋・近馬克之・芹田里美	9	○
電子工学4	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
電子工学5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	13	○
材料	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
燃料・潤滑	沼口洋・近馬克之・芹田里美	8	○
図面	大森秀幸・今井俊之・今川義光	11	○
自動車工学演習	大森秀幸・今井俊之・今川義光	20	○
ガソリン5	沼口洋・近馬克之・芹田里美	17	○
ガソリン6	沼口洋・近馬克之・芹田里美	10	○
ジーゼル5	大森秀幸・今井俊之・今川義光	20	○
シャシ6	沼口洋・近馬克之・芹田里美	22	○
シャシ7	沼口洋・近馬克之・芹田里美	10	○
シャシ8	大森秀幸・今井俊之・今川義光	11	○
シャシ9	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
電子工学6	大森秀幸・今井俊之・今川義光	19	○
故障探求	大森秀幸・今井俊之・今川義光	15	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
自動車整備演習	大森秀幸・今井俊之・今川義光	50	○
整備機器	沼口洋・近馬克之・芹田里美	13	○
測定	沼口洋・近馬克之・芹田里美	12	○
検査機器	沼口洋・近馬克之・芹田里美	12	○
検査	大森秀幸・今井俊之・今川義光	24	○
法令Ⅰ	沼口洋・近馬克之・芹田里美	11	○
法令Ⅱ	大森秀幸・今井俊之・今川義光	15	○
(情報技術1)	小幡 知史	20	
(情報技術2)	小幡 知史	20	
(文書技法1)	沼口洋・近馬克之・芹田里美	20	○
(倫理社会1)	沼口洋・近馬克之・芹田里美	5	○
機械工作作業	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
計測作業	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
エンジン本体	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
G噴射装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ジーゼル整備	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
特殊機構1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
二輪2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
重整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
タイヤ整備	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
動力伝達装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ステアリング装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
ブレーキ装置	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
サスペンション	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
トラック整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
A/T	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
二輪3	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
特殊機構2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
基本点検作業	沼口洋・近馬克之・芹田里美	33.4	○
基礎電気	沼口洋・近馬克之・芹田里美	24.2	○
電気装置1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
電気装置2	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
エアコンシステム	大森秀幸・今井俊之・今川義光	35.6	○
車体電装1	沼口洋・近馬克之・芹田里美	47.4	○
車体電装2	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○
ガソリン診断	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○
故障探求	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目	
問診整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	47.4	○	
二輪車検整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○	
車検整備	大森秀幸・今井俊之・今川義光	30.2	○	
材料	舘雅実・近馬克之	12	○	
力学	舘雅実・近馬克之	12	○	
構造機能	舘雅実・近馬克之	12	○	
板金Ⅰ	舘雅実・近馬克之	40	○	
板金Ⅱ	舘雅実・近馬克之	40	○	
塗装Ⅰ	舘雅実・近馬克之	30	○	
塗装Ⅱ	舘雅実・近馬克之	25	○	
損傷診断	舘雅実・近馬克之	10	○	
総合演習	舘雅実・近馬克之	67	○	
自動車検査	舘雅実・近馬克之	10	○	
板金Ⅰ	舘雅実・近馬克之	204	○	
板金Ⅱ	舘雅実・近馬克之	91.8	○	
塗装Ⅰ	舘雅実・近馬克之	136	○	
塗装Ⅱ	舘雅実・近馬克之	74.8	○	
損傷診断	舘雅実・近馬克之	27.2	○	
総合実習	舘雅実・近馬克之	153	○	
自動車検査	舘雅実・近馬克之	27.2	○	
(情報技術3)	長谷川福子	20		
単位時間総数		2978.4	実務経験のある教員等による授業科目単位時間	2918.4単位時間

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	25.0
科目名	ガソリン1	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ガソリン
3級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 総論、エンジン本体Ⅱについて学ぶ
3級ガソリン 総論、エンジン本体Ⅰについて学ぶ

《授業の目的・目標》

自動車に搭載されているエンジンの分類と特徴を理解し説明ができる。
4ストローク1サイクルエンジンの作動(各行程)及びバルブタイミングダイアグラムを説明できる。エンジン各部の構成部品(シリンダ・ヘッド～カムシャフト)の名称、役割、構造、作動を説明できる。熱効率、排出ガスの種類、特性、対策を理解し説明できる。
可変バルブ機構について役割、作動を理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

エンジンは種類から説明しその特徴や性能について理解させる。1サイクルの作動行程の各部分の動きについては実物と図を用いて確認させ理解させる。エンジン内部に入り構成部品、名称、役割を理解させ各部分の連動した動きを伝える。可変バルブについては基本となるバルブ機構習得後に役割や作動説明を行う。熱効率及び排出についても行程と関連させ説明を行う。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	7.0
科目名	ガソリン2	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ガソリン
3級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 潤滑装置、冷却装置について学ぶ
3級ガソリン 潤滑装置、冷却装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

潤滑装置のトロコイド式及びギヤ式について役割、構造、作動(流れ)を理解し説明ができる。
オイルフィルタ、オイルパン、オイルクーラの構造、役割を理解し説明ができる。
冷却装置の役割、構造、作動(流れ)を理解し説明ができる。
ラジエータファン及び不凍液の構造、特徴、働きを理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

潤滑装置について、オイル循環の必要性を説明し各構成部品の名称、役割を理解させる。オイルフィルタやファン、オイルパンの役割、特徴を理解させる。冷却装置について、冷却水の循環の必要性を説明し各構成部品の名称、役割を理解させる。冷却水の特性を説明し理解させる。ファンの制御システムについて回路図等を用いて説明し理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	17.0
科目名	ガソリン5	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ガソリン
3級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 吸排気装置・整備、エンジンの点検整備
3級ガソリン エンジン本体・整備

《授業の目的・目標》

シリンダヘッド、シリンダブロック、ピストン等の点検とその必要性を理解し説明できる。
コンロッド、クランクシャフト、バルブ、カムシャフト等とその必要性を理解し説明できる。
過給機の種類と構造及び名称、作動について理解し説明できる。
電子制御装置の故障探求方法と外部診断機、テスタを使用した点検を理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

エンジン内部の各部品について、点検の必要性及び測定機器での測定方法を理解させる。良否判定を含め基準を外れた場合にどのような不具合が発生するか理解させる。過給機の必要性や種類、作動方法について説明し理解させる。電子制御の構成を説明しセンサ等の点検方法と判定基準について理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	10.0
科目名	ガソリン6	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ガソリン
3級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 潤滑装置・整備
3級ガソリン 冷却装置・整備

《授業の目的・目標》

ウォーターポンプ、ラジエータ及びサーモスタッドについて点検の必要性和点検方法について理解し説明できる。
オイルポンプ、リリーフバルブ、オイルフィルタ、オイルパンの点検の必要性和点検方法について理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

実際の冷却装置及び潤滑装置の部品を用いて、点検方法を説明し理解させる。点検後の組み付け方法と点検を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	7.0
科目名	ジーゼル1	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ジーゼル
3級ジーゼル

《授業科目概要》

2級ジーゼル 総論、エンジン本体、潤滑装置について学ぶ
3級ジーゼル 総論、エンジン本体、潤滑装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

ジーゼルエンジンの作動(各行程)及びバルブタイミングダイヤグラムを説明できる。
熱効率、排ガス対策装置、燃焼、エンジンの構造(名称・作動等)及び機能やジーゼルエンジン特有の燃焼室について理解し説明できる。
潤滑装置のオイルの循環について理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

ガソリンエンジンとの違いを明確に示し、ジーゼルエンジン特有の作動(行程)やエンジン本体の構造及び機能について単説明し理解させる。熱効率や排出ガスの種類、対策を説明し理解させる。潤滑装置の循環機能について部品(オイルポンプ、オイルフィルタ等)について説明し理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	23.0
科目名	ジーゼル2	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
3級ジーゼル

《授業科目概要》

3級ジーゼル 燃料装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

ジーゼルエンジンの燃料噴射装置の燃料の流れ、各部装置名称、ポンプ本体内部構造を理解し説明ができる。プランジャの作動、名称、噴射量の制御について理解し説明できる。
ガバナ及びタイマの役目、構造、機能について理解し説明できる。
コモンレール式高圧燃料噴射装置の構造、機能、構成部品の名称・特徴を理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

機械式インジェクションポンプ及びコモンレールサプライポンプ本体を現物にて確認させ燃料の流れ、違いや特徴について説明し理解させる。噴射ノズルから燃料を噴射するまでの行程について図等を用いて理解させる。ガバナ及びタイマの役目、作動を理解させる。コモンレール式の電子制御装置の各部品(インジェクタ・センサ等)の役目、特徴について説明し理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	13.0
科目名	ジーゼル3	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ジーゼル
3級ジーゼル

《授業科目概要》

2級ジーゼル 燃料装置について学ぶ
3級ジーゼル 燃料装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

コモンレール式のサプライポンプ本体構造、作動について理解し説明できる。
コモンレール式に使用する電子制御式の各センサについて役目、特徴を理解し説明できる。
ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置の特徴、構造、機能、作動について理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

サプライポンプの構造を明確に伝え、燃料の圧送作動を理解させる。ECU及び各センサの役目、制御電圧値等を説明し理解させる。ユニットインジェクタ式の特徴を理解させ内部構造、名称、作動(吸入・プリストローク・噴射・終了)を伝える。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	16.0
科目名	シャシ1	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

2級シャシ

3級シャシ

《授業科目概要》

2級シャシ アクスル及びサスペンションについて学ぶ

3級シャシ 総論、アクスル及びサスペンションについて学ぶ

《授業の目的・目標》

1. アクスル及びサスペンションの構造、形式、構成部品について理解する。
2. シャシスプリング、ショックアブソーバの名称、役割、構造、構成部品、作動を理解する。

《授業の概要・授業方針》

1. アクスル及びサスペンションの構造、形式、構成部品について簡単な説明が出来るようにする。
2. シャシスプリング、ショックアブソーバの名称、役割、構造、構成部品、作動について簡単な説明が出来るようにする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	30.0
科目名	シャシ2	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

2級シャシ

3級シャシ

《授業科目概要》

2級シャシ ホイール及びタイヤについて学ぶ

3級シャシ 動力伝達装置Ⅰ、ホイール及びタイヤ、ホイール・アライメントについて学ぶ

《授業の目的・目標》

1. 動力伝達装置の構成する各機構の構造、構成部品、名称、作動について理解する。
(クラッチ、M/T、A/T、トランスファ、プロペラシャフト、ドライブシャフト、ファイナルギヤ及びディファレンシャル)
2. タイヤ及びホイールの構造、名称、役割、ホイール・アライメントの要素、役割を理解する。

《授業の概要・授業方針》

1. 動力伝達装置の構成する各機構の部品、カットモデル等を使いながら名称、作動、役割を理解させる。
2. タイヤ、ホイールのカットモデルを使いながら構造、名称、役割を理解させる。
3. ホイール・アライメントの要素、必要性を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	11.0
科目名	シャシ3	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
3級シャシ

《授業科目概要》

3級シャシ ステアリング装置 I、ブレーキ装置 I について学ぶ

《授業の目的・目標》

1. ステアリング装置の役割、機構、構成部品、名称、作動を理解する。
(ボールナット型、ラック・ピニオン型、油圧式パワステ、EPS)
2. ブレーキ装置の役割、構成部品、名称、構造、作動を理解する。

《授業の概要・授業方針》

1. ステアリング装置の単体部品を用いて、各部名称、作動を理解させる。
2. ブレーキ装置の単体部品を用いて、構造、各部名称、作動を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	22.0
科目名	シャシ6	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級シャシ
3級シャシ

《授業科目概要》

2級・3級シャシ
アクスル及びサスペンション・整備、動力伝達装置Ⅰ・整備、ホイール及びタイヤ・整備
アライメント整備

《授業の目的・目標》

アクスル及びサスペンション、動力伝達装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメントについての点検、測定方法、修正、調整及び分解・組み立ての要点について理解する。

《授業の概要・授業方針》

アクスル及びサスペンション、動力伝達装置、ホイール及びタイヤ、ホイールアライメントについての点検、測定方法、修正、調整及び分解・組み立ての要点等整備に関する知識を修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	10.0
科目名	シャシ7	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級シャシ
3級シャシ

《授業科目概要》

2級・3級シャシ
ステアリングI・整備、ブレーキ装置I・整備、

《授業の目的・目標》

ステアリング装置、ブレーキ装置についての点検、測定方法、修正、調整及び分解・組み立ての要点について理解する。

《授業の概要・授業方針》

ステアリング装置、ブレーキ装置についての点検、測定方法、修正、調整及び分解・組み立ての要点等整備に関する知識を修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	15.0
科目名	基礎自動車工学	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学

《授業科目概要》

自動車の概要、自動車の構造、自動車の機械要素、機械及び潤滑剤、基礎的な原理原則
自動車の諸元について学ぶ

《授業の目的・目標》

1. 自動車の分類ができるようになる。(車両法、用途、エンジン・駆動輪の位置等)
2. 自動車の基本構造、構成部品を理解する。(エンジン、シャシ、電装等)
3. 自動車に使用される機械要素(ねじ、ギヤ、ベアリング等)を理解する。

《授業の概要・授業方針》

1. 自動車の分類ができ、説明できるようになる。
2. 自動車の基本構造、構成部品、役割について簡単に説明できるようになる。
3. 自動車に使用されている部品の機械要素について簡単に説明できるようになる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	12.0
科目名	検査機器	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
基礎自動車整備作業

《授業科目概要》

基礎自動車整備作業 基礎整備作業のⅧ昇降作業～Ⅹ機械工具について学ぶ

《授業の目的・目標》

1. 昇降装置(ガレージジャッキ、リフト、チェンブロック)の用途、種類、構造・機能及び取り扱いについて理解する。
2. 点検用機械工具、検査用機械装置、修正用器具について写真を示し名称と用途を理解する。

《授業の概要・授業方針》

昇降装置、点検用機械工具、検査用機械装置、修正用器具の用途、取り扱い上の注意すべき点について修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	8.0
科目名	材 料	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 (自動車の材料)

《授業科目概要》

各機構の使用される部位に求められる特性と特徴を学ぶ。

《授業の目的・目標》

自動車に用いられる材料、鉄鋼、非鉄金属、焼結合金及び非金属の違いを学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

材料に求められる特性の違い、加工による特徴を学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	13.0
科目名	整備機器	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
基礎自動車整備作業

《授業科目概要》

基礎自動車整備作業 整備基礎知識、基礎整備作業のIについて学ぶ

《授業の目的・目標》

整備の目的や整備技術の重要性を理解し説明ができる。
整備作業の中での労働安全を順守する意識を高めることができる。
自動車整備に使用する工具、測定具の構造、取り扱い保守管理等を理解することができる。

《授業の概要・授業方針》

最初に整備の目的や技術の習得、安全作業の順守について説明し理解させる。作業工具の取り扱い方法や保守、切削、研磨工具の取り扱いや保守については実物を用いて説明し理解させる。計測機器の必要性や重要性の説明を施し、測定手順を段階的に実演し習得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	12.0
科目名	測 定	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
基礎自動車整備作業

《授業科目概要》

基礎自動車整備作業 基礎整備作業のⅡ～Ⅶについて学ぶ。

《授業の目的・目標》

自動車整備における計測作業の必要性、重要性を説明できる。
一般測定器で安全に正しく計測し、保守できる。

《授業の概要・授業方針》

自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	16.0
科目名	電子工学1	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 2級・3級ガソリン
 基礎的な原理・原則（電機と磁気）電気装置Ⅰ、Ⅱ、半導体、バッテリー

《授業科目概要》

電気の基礎的な内容及び次の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造作動を学習する。

電子・電気関係（計算含む）、電磁石・電磁誘導、半導体、バッテリー、

《授業の目的・目標》

自動車に使用されている電装品の種類、役割を説明できる。
 電気の基礎（電流、電圧、抵抗等）、オームの法則、電気と磁気の間係を説明できる。
 半導体の特性を理解する。
 自動車用バッテリーの仕組みを理解し、起電の原理が説明できる。

《授業の概要・授業方針》

自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	25.0
科目名	電子工学2	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 2級・3級ガソリン 2級ジーゼル
電気装置 I 半導体、II 始動装置、III 充電装置、VI 充電装置

《授業科目概要》

電気の基礎的な内容及び次の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造作動を学習する。

電磁石・電磁誘導、 半導体、 バッテリ、 スタータ、
オルタネータ

《授業の目的・目標》

始動装置、充電装置の役割、構成部品を説明できる。

始動装置、充電装置の構造、名称、作動、電気の流れ、点検整備を説明できる。

《授業の概要・授業方針》

始動装置、充電装置の構造、作動を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	9.0
科目名	電子工学3	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 2級・3級ガソリン 2級・3級ジーゼル
電気装置 V、点火装置、予熱装置

《授業科目概要》

電気の基礎的な内容及び次の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造作動を学習する。

点火装置、 予熱装置

《授業の目的・目標》

電気の基礎的な原理法則を理解する。

点火装置、予熱装置の構造、作動を理解する。

《授業の概要・授業方針》

点火装置、予熱装置の構造、名称、電気の流れ、制御を説明できる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	8.0
科目名	燃料・潤滑	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

3級ガソリン 3級ジーゼル

2級ガソリン 2級ジーゼル

2級シャシ

《授業科目概要》

3級ガソリン 燃料及び潤滑材

2級ガソリン 燃料及び潤滑材

2級シャシ 燃料及び潤滑材

《授業の目的・目標》

ガソリンの基材及び軽油の性質、オクタン価、添加剤について理解し説明できる。

潤滑材（エンジンオイル）の必要性、作用及び分類について理解し説明ができる。

グリースの必要性や性状について理解し説明できる。

ATF、CVTフルード及びPSFについて作用や性状を理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

ガソリン及び軽油について性質等を説明し理解させる。エンジンオイルの役割やグレード等を説明し理解させる。グリースの使用箇所を確認させ種類や特性など説明し理解させる。各種TM、ステアリングに必要な油脂とその性状について説明し理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	11.0
科目名	法令 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

公論出版
法令教本

《授業科目概要》

法令 道路運送車両法と保安基準、自動車点検基準について学ぶ。

《授業の目的・目標》

道路運送車両法の目的、検査等を理解する。
自動車の整備事業について理解する。
自動車の保安基準に定められている数値を覚える。

《授業の概要・授業方針》

道路運送車両法に基づく保安上の技術基準について、「道路運送車両の保安基準」及び、「保安基準の細目を定める告示」に基づき、自動車整備士として必要な知識を学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	23.0
科目名	力数1	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

聖研出版社 計算問題を解くノウハウ 自動車整備士2級・3級
 基礎自動車工学・基礎知識、基礎的な原理原則、基礎自動車工学、自動車の諸元

《授業科目概要》

自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を習得する。

《授業の目的・目標》

力と、質量、トルクとモーメント計算について、説明出来るようになる。
 排気量、圧縮比、ピストン速度について理解し計算できる。
 自動車の変速、変速比について理解する。

《授業の概要・授業方針》

自動車の基礎知識および原理の概要を習得し、エンジン系、シャシ系の計算を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	8.0
科目名	力数2	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

聖研出版社 計算問題を解くノウハウ 自動車整備士2級・3級
 基礎自動車工学・基礎知識、基礎的な原理原則、2級シャシ

《授業科目概要》

自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を習得する。

《授業の目的・目標》

物体の速度や加速度の計算を理解することで、車の速度や加速度、エンジンの回転速度等の計算が出来るようになる。

《授業の概要・授業方針》

自動車の基礎知識および原理の概要を習得し、エンジン系、シャシ系の計算を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期・後期	授業時間数	20.0
科目名	情報技術1	実務経験教員	無
担当教員	小幡 知史		

《使用教科書・参考図書》

実教出版

《授業科目概要》

コンピュータ実習 ワード 30時間マスター 2013 について学ぶ

《授業の目的・目標》

ワードによる文章の入力及び一般的な文書作成の修得を目標とする。

《授業の概要・授業方針》

ワードによる文章の入力で利用する文字の変換や文書作成で必要となる罫線の引き方、文書の整え方など一般的な使い方を修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	20.0
科目名	文書技法1	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実教出版

要点と演習 ビジネス能力検定 ジョブパス3級

《授業科目概要》

ビジネス能力検定3級テキスト 2019 ついて学ぶ

《授業の目的・目標》

社会人になる為の心構え、マナーや基本的なルールを身につけさせることを目標とする。

《授業の概要・授業方針》

学生から社会人となる前に、ビジネスの場において、マナーや基本的なルールなどを学習し、学生のレベルアップができるよう授業を行う。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 後期	授業時間数	5.0
科目名	倫理社会1	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年
担当教員	沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

《授業科目概要》

一般教養、ビジネスマナーについて学ぶ

《授業の目的・目標》

一般教養、ビジネスマナーについて学ぶ

《授業の概要・授業方針》

一般教養、ビジネスマナーについて学ぶ

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 前期	授業時間数	33.4
科目名	エンジン本体	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

ガソリンエンジン分解組立を行い、実体験により、整備の楽しさを体感させるエンジンの基本的な構造を見て学ぶ

《授業の目的・目標》

ガソリンエンジンの分解方法や各部品の名称、工具の基本的な使い方を理解し作業できるようになる。

サイクルの行程(吸入・圧縮・燃焼・排気)を実際の部品に連動させた説明ができる。

ピストン脱着作業が正確にできる。

《授業の概要・授業方針》

エンジンの分解作業行程を伝え、分解中において部品の名称、材質、特徴等を説明し理解させる。作業時には工具の基本的な使い方や部品の取り扱いについても注意喚起し習得させる。回転部分の重要作業となるピストン脱着作業要領を説明し正しく正確に行えるよう手本作業を見学させ実作業を習得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	サスペンション	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

サスペンション本体の分解組立を行うことにより、基本的な構造について学ぶ
ホイール・アライメントの測定及び調整を行うことにより、走行安定性の重要性について学ぶ

《授業の目的・目標》

1. 前後サスペンションの車両からの脱着が出来る。
2. ストラットの分解・組み立てができる。
3. ホイール・アライメントの種類、意味、それぞれの測定方法が理解できる。

《授業の概要・授業方針》

1. サスペンションの脱着、分解・組み立ての安全で確実な作業を心掛けさせる。
2. ホイール・アライメントの測定が正しい手順で出来るようにする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	ステアリング装置	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

ラックピニオン型・ボールナット型ステアリングギヤの分解組立
二輪のステアリング機構の分解点検

《授業の目的・目標》

ステアリングホイール（ハンドル）からタイヤまでの操舵方法について理解し説明できる。
ステアリングギヤ（ラックピニオン型）のオーバーホール方法を習得し説明ができる。
ステアリングギヤ（ボールナット型）のオーバーホール方法を習得し説明ができる。
二輪自動車のハンドル、フロントフォーク等の分解、組み立てができ構造、機能を説明できる。

《授業の概要・授業方針》

ステアリング機構においてハンドル操作からタイヤの切れまでの動きを実車にて構造、機能、作動を説明し理解させる。各ステアリングギヤ（ラックピニオン・ボールナット）のオーバーホールを行い、構成部品、作動等を理解させる。二輪のステアリングのフロントフォーク分解、点検、組み付け作業を行い装置の動き、役割、特徴等を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 前期	授業時間数	24.2
科目名	タイヤ整備	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

タイヤの交換作業

タイヤチェンジャー及びホイールバルンサーの使い方

《授業の目的・目標》

1. タイヤの交換作業を行うことにより、タイヤ及びホイールの構造、各部名称、呼び等を学ぶ。
2. タイヤチェンジャー及びホイールバルンサーの取り扱い方を学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

一人でタイヤチェンジャーでのタイヤの組み換え及びホイールバルンサーでのバランスどりが安全に出来るよう修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	ブレーキ装置	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

ブレーキ装置の分解組立

《授業の目的・目標》

1. ディスク及びドラムブレーキの分解・組つけが出来るようになる。
2. マスタシリンダ及びホイールシリンダの分解・組つけが出来るようになる。
3. ブレーキフルードの交換手順を理解して行う。
4. ブレーキ調整の手順を理解して行う。

《授業の概要・授業方針》

1. 目標時間内に前後ブレーキの分解・組つけ・調整作業が正しい手順で出来るようにする。
2. ブレーキの分解作業を行うことで、各部名称及び構造・作動を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 前期	授業時間数	24.2
科目名	基礎電気	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》
実習テキスト

《授業科目概要》
サーキットテストの組立

《授業の目的・目標》
サーキットテストを制作することにより、はんだ付け作業や回路構成を理解し説明ができる。
サーキットテストを使用して、電圧値・電流値・抵抗値の基本的な測定ができる。
自動車のバッテリー、暗電流、バルブ(電球)の測定から良否判定ができる。

《授業の概要・授業方針》
サーキットテスト制作を通して、はんだ付け作業を習得し自動車の電子回路故障時に対応できるように習得させる。電圧・電流・抵抗の測定時の注意事項を理解させ正確な測定ができるようにする。自動車の簡易的な測定を習得させる。

《成績基準・評価基準》
90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 前期	授業時間数	33.4
科目名	基本点検作業	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

リフトを使用しタイヤなどを外させ、車の構造及び名称などを覚えると同時に基本的な作業の行い方や点検方法を学ぶ

《授業の目的・目標》

1. ガレージジャッキで車両のアップ、ダウンが安全に出来るよう作業手順を学ぶ。
2. タイヤパンク時の応急処置方法をまなぶ。
3. リフトの安全操作及びタイヤローテーションの手順を学ぶ。
4. 日常点検のやり方、良否判定を学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

1. 昇降装置の安全な作業手順を修得する。
2. 正しいタイヤの脱着手順を修得する。
3. 一人で日常点検、良否判定が出来るようになる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 前期	授業時間数	24.2
科目名	機械工作作業	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

自動車整備士に必要な工具、機械類の種類、用途、使用方法を学ぶ。
手仕上げ作業及び工作作業を行うことにより安全作業の重要性について学ぶ。
溶接の安全作業を学ぶ。

《授業の目的・目標》

工作機械の操作及び危険を理解し、自分で判断できるようにする。
ボルトの特徴、トルク管理を理解する。
工作作業を通して、物の大切さを理解す。

《授業の概要・授業方針》

自動車整備士に必要な工具、機械類の種類、用途、使用方法を学ぶ。
安全作業の重要性、トルク管理、工具の大切さについて理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	計測作業	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

エンジン分解組立を行いながら各種の計測作業を行うことにより、各測定器具の取扱及び使用方法を学ぶ。

測定の重要性について学ぶ。

《授業の目的・目標》

エンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶ。

各測定器具の取扱及び使用方法を学ぶ。

エンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

基本的なエンジンの構造の復習しエンジンの分解、組み付け方法を正しく行う。

正しい作業姿勢と安全作業を常に意識させる。

工具選択の重要性を教え、常に工具選択を意識させる。

各測定器具を使用し、エンジンの各部分の測定、調整が正しく行える。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	電気装置1	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

バッテリーの構造、機能、作用、充電方法

スタータ・モータの点検、取外し、構造、機能、分解、組立、取付方法。

《授業の目的・目標》

バッテリーの構造、機能、作用、充電方法について学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

エンジンやシャシにも電装品が使用されており、各分野に共通して電気の知識が必要となる。

実車授業の基礎となる装置単体を中心に電装品の知識を習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	電気装置2	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

点火装置、充電装置

《授業の目的・目標》

点火装置、充電装置の概要、構造、回路、作動を理解する。
各装置を分解、組立して内部構造と各部の名称等を現物で確認する。

《授業の概要・授業方針》

エンジンやシャシにも電装品が使用されており、各分野に共通して電気の知識が必要となる。
実車授業の基礎となる装置単体を中心に電装品の知識を習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	動力伝達装置	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

車輛よりトランスミッションを脱着し、分解組み立てを行うことにより動力伝達装置を学ぶ

《授業の目的・目標》

- FRのトランスミッションの分解・組付けをすることで、構造、各部名称、各機構の作動、役割を理解する。
- ファイナルギヤ及びディファレンシャルの分解・組付けをすることで、構造、各部名称、差動装置の作動、役割を理解する。

《授業の概要・授業方針》

- トランスミッション、ディファレンシャルを構成する様々な構成部品、構造、作動を理解させる。
- 工具選択やその取扱い、材質に対する力加減を覚えさせる。
- 作業における整理整頓の重要性を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 前期	授業時間数	33.4
科目名	特殊機構 1	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

ロータリーエンジン単体とレシプロエンジンとの構造上の違いについて学ぶ。
溶接の安全作業について学ぶ。

《授業の目的・目標》

実際のロータリーハウジング、ローターを用いて構造を理解する。
マイクロメータを用いたレシプロエンジン、ロータリーエンジンの点検・計測を行う。
アーク溶接の資格を取得する。

《授業の概要・授業方針》

ロータリーエンジン単体とレシプロエンジンとの構造上の違いについて学ぶ。
溶接の安全作業について学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	二輪 1	実務経験教員	有 (ディーラー) 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

原動機付自転車の燃料装置、動力伝達装置の分解組立

《授業の目的・目標》

道路運送車両法における原動機付自転車の位置づけを明確に説明することができる。
 原動機付自転車のエンジンを分解させエンジンの構造・作動・各部名称を理解し説明できる。
 二輪車特有の整備方法を習得し説明することができる。

《授業の概要・授業方針》

関係法規における原動機付自転車の位置づけを伝え理解させる。車両よりエンジンを取り外し全体部品にオーバーホール作業を施しながら構造・機能・作動を理解させる。作業中の整備方法及び工具の取り扱いに注意を払い習得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

実 習	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	1年 後期	授業時間数	47.4
科目名	問診整備	実務経験教員	有（ディーラー） 11年、6年、5年
担当教員	沼口 洋 近馬 克之 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

顧客対応を学び、質疑応答による問診について学ぶ。

《授業の目的・目標》

接客を通じて故障や不調から導く、問診方法を基に整備の計画を構築できるようにする。

《授業の概要・授業方針》

問診に至るまでを役に分かれ、接客方法から問診に至るまでを系統立て整備を行い、第三者役の生徒は見学と意見を出し、ロール・プレイング形式で学習させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期・後期	授業時間数	20.0
科目名	情報技術2	実務経験教員	無
担当教員	小幡 知史		

《使用教科書・参考図書》

実教出版

《授業科目概要》

コンピュータ実習 エクセル 30時間マスター 2013 について学ぶ

《授業の目的・目標》

エクセルによる表計算の一般的な作成の仕方を修得することを目標とする。

《授業の概要・授業方針》

エクセルによる表計算の一般的な表の作成及び関数の利用の仕方、更にはグラフの作成等、全般的な使い方を修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	14.0
科目名	ガソリン3	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 電子制御装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

近年の自動車には欠かせない電子制御技術を理解し、複雑なエンジン制御において、各制御にどのような意味があるかを考え、システムの作動はもちろんのこと、故障探求に応用できること目的とする。

《授業の概要・授業方針》

この授業は、システムの基本となるセンサ、アクチュエータ作動及び役割を理解し、ECUにおける実制御、故障探求方法、フェイルセーフ機能などを、テキストを使用し授業を進行していく。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	13.0
科目名	ガソリン4	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 燃料装置、吸排気装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

2分野の習得を目標とする。まず一つは、気体を燃料とするエンジン、特にLPG自動車の燃料装置の構成について理解することと、二つ目はエンジンの過給装置の必要性について学び、種類構造について理解する。

《授業の概要・授業方針》

LPG自動車については、部品構成、電子制御における制御方法に至るまで、過給装置においてはターボチャージャ・スーパーチャージャ各々の構造について、また、最近の燃費問題に配慮した可変容量式ターボチャージャについても、テキストを使用し理解することを目指す。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	22.0
科目名	ジーゼル4	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ジーゼル
3級ジーゼル

《授業科目概要》

2級ジーゼル 燃料装置、吸排気装置について学ぶ
3級ジーゼル 燃料装置について学ぶ

《授業の目的・目標》

近年の排気ガス対策として登場した、コモンレール噴射装置について構造・制御を理解する。またそれに付随する、排気ガスの後処理装置について、必要性を学び、構造を理解する。

《授業の概要・授業方針》

コモンレール噴射装置については、主要部品の構造・作動を理解したうえで、ECUの噴射制御について学ぶ。後処理装置については、酸化触媒と尿素SCRシステムの必要性を考え、機能・構造を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	20.0
科目名	ジーゼル5	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級ジーゼル 3級ジーゼル

《授業科目概要》

燃料装置、インジェクションポンプテスト整備、インジェクションノズルテスト

《授業の目的・目標》

燃料装置単体での整備方法を習得し、燃料装置のテストの使用方法について理解する。

《授業の概要・授業方針》

インジェクションポンプテストでは、列型インジェクションポンプの基本的な調整方法を学び、ノズルテストは、噴霧状態・圧力測定の良否の判別をできるよう取り扱いについて理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	19.0
科目名	シャシ4	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ 3級シャシ

《授業科目概要》

ホイールアライメントⅡ ブレーキ装置Ⅱ フレーム及びボディー

《授業の目的・目標》

ホイール、アライメント、ブレーキの必要性と概要
フレーム及びボディーの構造について修得させる。

《授業の概要・授業方針》

ホイール・アライメントの必要性とその影響、ブレーキの構造、機能、フレーム及びボディーの特長と名称を熟知させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	23.0
科目名	シャシ5	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ

《授業科目概要》

ホイールアライメントⅡ ブレーキ装置Ⅱ

《授業の目的・目標》

ボディに対するホイールの整列と、その影響、ブレーキの構造と機能を修得させる。

《授業の概要・授業方針》

走行における車両の操縦安定性に影響があるホイール・アライメントやエア・ブレーキの役割や交換調整方法を身に付けさせる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	11.0
科目名	シャシ8	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ 3級シャシ

《授業科目概要》

ブレーキ装置Ⅱ・整備、フレーム及びボデー・整備

《授業の目的・目標》

ブレーキとフレーム及びボデーの整備の留意点を認識させる。

《授業の概要・授業方針》

ブレーキの消耗品、劣化品の交換時期及び交換方法、フレーム及びボデーの劣化項目や修理時の注意点を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	19.0
科目名	シャシ9	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ 3級シャシ

《授業科目概要》

ステアリング装置Ⅱ・整備、動力伝達装置・整備

《授業の目的・目標》

パワー・ステアリングの種類、機能と整備、動力伝達装置の故障や定期点検整備を認識させる。

《授業の概要・授業方針》

定期的な整備箇所、故障しやすい箇所の整備方法を修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	24.0
科目名	検 査	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級シャシ

《授業科目概要》

保安基準適合性確保の点検について学ぶ

《授業の目的・目標》

道路運送車両法に準ずる点検方法を認識させる。

《授業の概要・授業方針》

必要性和安全性、そして環境に基づくことが骨子にあることを理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	15.0
科目名	故障探求	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

2級ガソリン

2級ジーゼル

2級シャシ

《授業科目概要》

2級ガソリン 故障原因探求について学ぶ

2級ジーゼル 故障原因探求について学ぶ

2級シャシ 故障原因探求について学ぶ

《授業の目的・目標》

近年の自動車は大幅な電子制御化が進んでおり、故障した場合の対処方法も以前の自動車とは大きく異なってきている。この単元は今まで学習した電子制御技術を理解したうえで、トラブルを起こした場合、いかに的確な問診を行い、正しい手順で原因を追究し、確実にトラブルから復旧できるよう知識を身に着けることを目的とする。

《授業の概要・授業方針》

ユーザーからの状況の問診方法や、電子制御化されたシステムにおいて、ECUの自己診断機能を外部診断器を使用して故障箇所を特定していく方法、サーキットテスタを使用したワイヤハーネスなどの断線・短絡の確認方法を習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度+学習態度+人物評価+レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	20.0
科目名	自動車工学演習	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

演習問題

《授業科目概要》

二年間の全科目における総ざらいを、演習問題を使用して行い、これまでの各教科の内容の理解を確実なものにするために行う。

《授業の目的・目標》

この単元は、自分の理解度を確認することに重点を置く。理解不足の項目については、テキストを使用して復習を行い、再試験を行い理解不足を解消させ、国家試験に向け個人のスキルアップを行うことを目的とする。

《授業の概要・授業方針》

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	50.0
科目名	自動車整備演習	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

テキスト

《授業科目概要》

自動車整備に関する総合演習

《授業の目的・目標》

二級国家試験合格レベルの実力を身につける。

《授業の概要・授業方針》

二級国家試験の過去問題をテスト形式で行う。基準点に満たない者については、補講を行う。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	11.0
科目名	図 面	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 製図

《授業科目概要》

製図

《授業の目的・目標》

製図について知り、形状を理解できるようにする。

《授業の概要・授業方針》

線の種類を使いこなして、立体物を平面製図に変換できるように、製図を身に付けさせる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	13.0
科目名	電子工学4	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ 3級シャシ

《授業科目概要》

I 計器 III 空気調和装置 III 灯火装置 VI 計器 暖冷房装置

《授業の目的・目標》

自動車の電気装置について、構造・作動及び点検・整備方法等を理解する。また、二級国家試験合格レベルの知識を習得する。

《授業の概要・授業方針》

2・3級の教科書に基づいて、各装置の基本的な構造・作動及び点検・整備方法等から二級国家試験に出題される内容まで学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	13.0
科目名	電子工学5	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ 3級シャシ

《授業科目概要》

II 警報装置 VI 電気装置の配線 V ホーン ウィンドシールド ワイパ電気装置の配線

《授業の目的・目標》

自動車の電気装置について構造・作動及び点検・整備方法等を理解する。また、二級国家試験合格レベルの知識を習得する。

《授業の概要・授業方針》

2・3級の教科書に基づいて、各装置の基本的な構造・作動及び点検・整備方法等から二級国家試験に出題される内容まで学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	19.0
科目名	電子工学6	実務経験教員	有(ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

2級ガソリン 2級シャシ

3級ガソリン 3級シャシ

3級ジーゼル

《授業科目概要》

2級ガソリン 電気装置・整備、Ⅱバッテリー、Ⅲ始動装置、Ⅵ充電装置について学ぶ

3級ガソリン 電気装置・整備、Ⅱバッテリー、Ⅲ始動装置、Ⅵ充電装置、Ⅴ点火装置を学ぶ

3級ジーゼル 電気装置・整備、Ⅴ予熱装置について学ぶ

2級シャシ 電気装置、警報装置、空気調和装置を学ぶ 3級シャシ 灯火装置、ワイパ等

《授業の目的・目標》

自動車の電気装置について構造・作動及び点検・整備方法等を理解する。また、二級国家試験合格レベルの知識を習得する。

《授業の概要・授業方針》

2・3級の教科書に基づいて、各装置の基本的な構造・作動及び点検・整備方法等から二級国家試験に出題される内容まで学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	15.0
科目名	法令Ⅱ	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

公論出版
法令教本

《授業科目概要》

道路運送車輛法と保安基準、自動車点検基準について学ぶ

《授業の目的・目標》

道路運送車輛法と保安基準、自動車点検基準について理解する。また、二級国家試験合格レベルの知識を習得する。

《授業の概要・授業方針》

法令教本に基づいて内容を理解すると共に、二級国家試験の過去問題のプリントを行って理解を深める。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	13.0
科目名	力数3	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

聖研出版社 計算問題を解くノウハウ 自動車整備士2級・3級 自動車の諸元

《授業科目概要》

プラネタリ・ギヤの計算、走行中の自動車に働く力、仕事・仕事率・出力の計算、線膨張係数の計算

《授業の目的・目標》

二級国家試験で出題される「プラネタリ・ギヤ」、「仕事・仕事率・出力」、「線膨張係数」に関する計算問題を解けるようにする。また、仕事率・出力の計算に必要な「走行中の自動車に働く力」についても理解する。

《授業の概要・授業方針》

各問題ごとに、プリントを用いて「解き方や計算式、ポイント等」をまとめることで解き方・考え方を理解した上で、「練習問題」を行って実際に問題を解けるようにする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	13.0
科目名	力数4	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

聖研出版社 計算問題を解くノウハウ 自動車整備士2級・3級 自動車の諸元

《授業科目概要》

自動車の荷重に関する計算

《授業の目的・目標》

二級国家試験への出題頻度が高い「自動車の荷重」に関する計算問題を解けるようにする。

《授業の概要・授業方針》

プリントを用いて「解き方や計算式、ポイント等」をまとめることで解き方・考え方を理解した上で、「練習問題」を行って実際に問題を解けるようにする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	A/T	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

電子制御式4速A/Tの分解組立を行うことにより、構造、作動及び各レンジでの制御要素と動力伝達経路について学ぶ

《授業の目的・目標》

講習と実物の一致と作動確認により、理解度を深める。

《授業の概要・授業方針》

部品点数が多いため、整理整頓を基準に部品の順番、機能を理解しながら、正しく組付け、作動ができるように修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	G噴射装置	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

電子制御式燃料噴射装置に使われている各センサー及びアクチュエーターの名称、作動、点検方法を学ぶ

外部診断機の使い方を学ぶ

《授業の目的・目標》

ガソリン・エンジンの燃料噴射装置について、構造・作動及び点検・整備方法を習得する。また、外部診断器の使用方法についても習得する。

《授業の概要・授業方針》

実習テキストに沿って、実習車両での分解・組付け及び点検・整備を行って学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 後期	授業時間数	35.6
科目名	エアコンシステム	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

エアコンにおける冷媒サイクルの原理と機能及び作動を理解する
オートエアコンの作動を理解するとともに各センサーの役割、点検方法を学ぶ
自己診断機能及びファンコントロール制御について学ぶ

《授業の目的・目標》

エアコン・システムについて、構造・作動及び点検・整備方法を習得する。

《授業の概要・授業方針》

実習テキストに沿って、実習車両での分解・組付け及び点検・整備を行って学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	ガソリン診断	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

オシロスコープの使い方をマスターする

オシロスコープを使用して、サーキットテスターで解りづらい故障診断を行う

《授業の目的・目標》

ガソリン・エンジンにおける故障診断方法を習得する。また、故障診断で使用するオシロスコープの使用方法についても習得する。

《授業の概要・授業方針》

実習テキストに沿って、実習車両での分解・組付け及び点検・整備を行って学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	ジーゼル整備	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

車輛からシリンダヘッド等を脱着し、点検及び両性を行うことによりジーゼルエンジンの整備を学ぶ

エンジンを始動させることにより、始動系統、燃料系統について学ぶ

《授業の目的・目標》

ジーゼルエンジンを搭載した車両を使用し、燃料装置の整備方法を習得することを目的とする。また、予熱装置の構成、冷却装置の整備方法も習得する。

《授業の概要・授業方針》

インジェクションノズルをエンジンから脱着し、ノズルテストを使用した点検方法を理解させる。予熱装置の回路構成、点検方法についても理解する。また、ラジエータキャップテストを使用した圧力試験の作業方法も理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	トラック整備	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

大型車両特有の機構を中心に、F・Rアクスル、センターブレーキ、キングピンの分解を行い、構造、作動について学ぶ

《授業の目的・目標》

重量物を運搬する大型車両は、サスペンション、ブレーキ装置などの構造が乗用車とは大きく異なる。この単元は、トラックを使用してこれらの装置を分解し、必要な調整方法の習得と、圧縮空気式のブレーキシステムの基本構成について理解することを目的とする。

《授業の概要・授業方針》

ツーリーディングシュー式の分解・組立を反復練習し、迅速かつ正確に作業が行えるようになること、また、ハブのプレロード調整の意味や、その正しい調整方法の技術を習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	故障探求	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

ガソリン診断のまとめとして故障診断を行い、整備技術の向上及び難解故障の診断力を身につける
電子制御式A/Tの故障診断の考え方を学ぶ

《授業の目的・目標》

この単元は今まで学習した電子制御技術を理解したうえで、実車を使用し、正しい手順で原因を追究し、確実にトラブルから復旧できるよう知識を身に着けることを目的とする。

《授業の概要・授業方針》

実車において、ECUの自己診断機能を外部診断器を使用して故障箇所を特定していく方法、サーキットテスタを使用したワイヤハーネスなどの断線・短絡の確認方法を習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 後期	授業時間数	30.2
科目名	車検整備	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

継続検査の実施要領、指定自動車整備事業における車検整備の実務を保安基準、検査基準を踏まえて指導し、自動車の点検及び検査を総合的に学ぶ

《授業の目的・目標》

実車にて継続検査を実施し、検査の手順、分解整備記録簿の選択・管理方法、また、検査機器の取り扱い、検査の合格基準を理解することを目的とする。

《授業の概要・授業方針》

自家用乗用自動車等の2年ごとの定期点検基準に沿って点検実務を行い、その後、ブレーキ、スピードメータ、サイドスリップ、ヘッドライトの各テストを使用して合格基準を満たしているかを確認する。また、作業終了後、記録簿の管理方法についても理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	車体電装1	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

灯火装置

《授業の目的・目標》

自動車の灯火装置（ライト等）の基本的な構造・作動及び点検・整備技術を身に付ける。また、灯火装置を利用して、電気回路の基本構成及び故障探究方法についても習得する。

《授業の概要・授業方針》

実習テキストに沿って、実習車両での分解・組付け及び点検・整備を行って学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 後期	授業時間数	30.2
科目名	車体電装2	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

始動装置、充電装置、点火装置を車輛から脱着を行い、車上での点検を行う
パワー・ウィンドウ装置の作動・点検方法を学ぶ

《授業の目的・目標》

自動車の各電気装置について、脱着作業及び車上点検方法を習得する。

《授業の概要・授業方針》

実習テキストに沿って、実習車両での分解・組付け及び点検・整備を行って学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 後期	授業時間数	35.6
科目名	重整備	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

車輛からエンジンなどを脱着させることにより、整備に対する安全への考え方を学ぶ
重整備をおこなうことにより、今までの総復習を行うとともに再確認を行う

《授業の目的・目標》

重整備における準備、手順など一連の作業計画を構築させる。

《授業の概要・授業方針》

整備工程が多いため、整理整頓や計画性の重要性を修得すると共に、重量物の取り扱いの留意させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 後期	授業時間数	35.6
科目名	特殊機構2	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

電子制御式パワーステアリング装置及びABSなどを整備・点検を行うことにより作動を学ぶハイブリッド車の機構を修得する

《授業の目的・目標》

ハイブリット車を教材として使用することにより、昨今取り上げられている自動車の燃費についても考慮し、その向上のためにエンジンのハイブリット技術だけではなく、他の部品の構造を理解することにより、機能向上だけではなく燃費向上にも寄与していることを理解するのがねらいである。

《授業の概要・授業方針》

低圧電気取扱技能講習を修了後、ハイブリットシステムの部品の脱着し、構成確認を実施する。その後電動パワーステアリングの脱着、ABSの外部診断器を使用した故障探求を実施し理解を深めていくのがねらいである。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	二輪2	実務経験教員	有（ディーラー） 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

二輪1で学んだ基礎を基に、より高度なエンジン分解組立を行う

4連キャブレータの分解調整方法について学ぶと同時に自動車のキャブレータについて学ぶ

《授業の目的・目標》

多気筒エンジン分解組付けと共に、多気筒キャブレータの構造と調整を修得させる。

《授業の概要・授業方針》

多気筒の特性における分解組付けの注意点と取扱方法を学ばせる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 前期	授業時間数	47.4
科目名	二輪3	実務経験教員	有(ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

二輪大型のブレーキ装置、サスペンション、クラッチなどの分解組立を修得することにより整備力を養う。ガス溶接の安全作業を学ぶ。

《授業の目的・目標》

二輪大型特有のブレーキ、サスペンション、クラッチの分解組付けによる構造を熟知させる。ガス溶接の資格を取得する。

《授業の概要・授業方針》

分解点検、消耗劣化部品の確認と毎時交換部品の確認実行を修得させる。溶接の安全作業を学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	2年 後期	授業時間数	30.2
科目名	二輪車検整備	実務経験教員	有 (ディーラー) 2年、4年
担当教員	大森 秀幸 今井 俊之 今川義光 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

実習テキスト

《授業科目概要》

モーターサイクルの基礎を基に、検査機器を使用して二輪車の点検整備について学ぶ

《授業の目的・目標》

二輪車特有の構造に合わせた検査機器の取り扱いを修得させる。

《授業の概要・授業方針》

四輪との共通点、相違点を基に、点検整備方法を身に付けさせる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	26.0
科目名	エンジン工学	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 自動車新技術

《授業科目概要》

エンジン、筒内噴射式ガソリン・エンジン、コモン・レール式高圧燃料噴射システムについて学ぶ。

《授業の目的・目標》

筒内噴射式ガソリン・エンジン、コモン・レール式高圧燃料噴射システムについて理解させる。

《授業の概要・授業方針》

筒内噴射式ガソリン・エンジンの特徴である成層燃焼と均質燃焼と分けることにより、「低燃費・高出力・環境への配慮」を追求したエンジンとして構造・機能、点検・整備について学習する。コモン・レール式高圧燃料噴射システムの特徴である高圧燃料噴射により PM と NO_x の低減をするための構造・機能、点検・整備について学習する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	30.0
科目名	システム工学1	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 自動車新技術

《授業科目概要》

シャシ、無段変速機、車両安定制御装置、SRSエア・バッグ及びテンショナー・シート・ベルトについて学ぶ

《授業の目的・目標》

無段変速機、車両安定制御装置、SRSエア・バッグ及びテンショナー・シート・ベルトについて理解させる。

《授業の概要・授業方針》

無段変速機、車両安定制御装置の構造・機能、点検・整備について学習する。
SRSエア・バッグ及びテンショナー・シート・ベルトの構造・機能、整備、点検・整備のポイント、SRSエア・バッグの廃棄要領について学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 後期	授業時間数	33.0
科目名	システム工学2	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 シヤシ電子制御装置

《授業科目概要》

電子制御式オートマティック・トランスミッション、電動式パワー・ステアリングについて学ぶ

《授業の目的・目標》

電子制御式オートマティック・トランスミッション、電動式パワー・ステアリングについて高度整備技術、高度故障診断技術を理解させる。

《授業の概要・授業方針》

電子制御式オートマティック・トランスミッション、電動式パワー・ステアリングについて高度整備技術として、構造・機能・点検と高度故障診断技術として、故障診断技術を学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	24.0
科目名	システム工学3	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 郡司 秀彦 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 シヤシ電子制御装置

《授業科目概要》

アンチロック・ブレーキ・システム、オート・エア・コンディショナについて学ぶ

《授業の目的・目標》

アンチロック・ブレーキ・システム、オート・エア・コンディショナについて高度整備技術、高度故障診断技術を理解させる。

《授業の概要・授業方針》

アンチロック・ブレーキ・システム、オート・エア・コンディショナについて高度整備技術として、構造・機能・点検と高度故障診断技術として、故障診断技術を学習する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	55.0
科目名	システム工学4	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 エンジン電子制御装置

《授業科目概要》

高度整備新技術について学ぶ

《授業の目的・目標》

エンジンの高度整備新技術について理解させる。

《授業の概要・授業方針》

エンジンの高度整備新技術として、センサ、アクチュエータについて構造・機能・点検を学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	10.0
科目名	安全管理学	実務経験教員	有（ディーラー） 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

一級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理（日本自動車整備振興会連合会）

《授業科目概要》

安全管理学について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び職場での安全管理の徹底が自然とできるようになるための知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

整備業務における安全の意義と必要性および職場における安全管理の必要性と意義、災害の発生要因とその防止等、整備業務における安全の心得と注意事項についての知識を修得する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上：A 80～89 点：B 70～79 点：C 70 点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	10.0
科目名	環境保全論	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

一級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

環境保全について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び職場での環境保全の意識が自然とできるようになるための知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

自動車に関連する環境問題とその影響及び環境保全の意義と必要性、資源の有効利用、産業廃棄物処理などに対する知識と整備工場におけるそれらの適正処理について学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	30.0
科目名	環境論	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

環境社会検定試験 eco 検定公式テキスト (東京商工会議所)

《授業科目概要》

環境に関することについて学ぶ

《授業の目的・目標》

環境社会検定試験 (eco 検定) に合格できる知識の習得及び自らが持続可能な社会の実現に向けて考え、行動できるようになるための知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

環境問題に取り組んでいく上で必要とされる基礎的な知識、考え方を習得し、人間が将来にわたって地球の環境から、その恩恵を享受し、発展し続けていくためには「持続可能な開発」の考え方に基づく行動が必要であるということを学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	16.0
科目名	高度故障診断技術 1	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 エンジン電子制御装置

《授業科目概要》

通信信号・高度故障診断技術について学ぶ

《授業の目的・目標》

通信信号・エンジンの高度故障診断技術について理解させる。

《授業の概要・授業方針》

通信信号の理解を深めると共に、エンジンの高度故障診断技術として、診断の基本、電子制御装置に関する故障診断の進め方、及び、故障診断について学習する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	16.0
科目名	高度故障診断技術2	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

一級自動車整備士 シヤシ電子制御装置 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

振動、騒音について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び職場での振動・騒音の故障診断手法が実践できるようになるための知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

振動・騒音に関連する現象とそれらに関する整備技術及び診断技術を習得させる。そのため、自動車に特有の振動・騒音現象および発生原因、診断方法、対策方法などについての理解を深める。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	1 8 . 0
科目名	自動車機器	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

自動車検査用機械器具の構造と取扱 (日本自動車機械工具協会)

《授業科目概要》

自動車検査用機械器具の構造と取扱について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び職場での自動車検査用機械機器の取り扱いができるようになるための知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

自動車検査に必要な機器の構造と、取り扱い方法を習得する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	6 . 0
科目名	自動車検査	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

法令教本 (公論出版)

《授業科目概要》

自動車整備関係通達及び道路運送車両法について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び自動車ユーザーの保守管理を支援するための情報提供手段の技能を養う。

《授業の概要・授業方針》

道路運送車両法及び関連施行令、規則について広く理解し、自動車を点検・検査する技術を習得する

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	1 2 . 0
科目名	法 令	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

法令教本 (公論出版)

《授業科目概要》

自動車整備関係通達及び保安基準について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び保安基準についての知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

保安基準について広く理解し、自動車を点検・検査する技術を習得する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	10.0
科目名	自動車工学 1	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

二級ガソリン自動車 エンジン編 二級講習用 製図編

二級ジーゼル自動車 エンジン編

二級自動車シャシ

《授業科目概要》

後二軸車の軸荷重について学ぶ

材料・燃料・潤滑剤・図面について学ぶ

《授業の目的・目標》

後二軸車の軸荷重について理解させる。

材料・燃料・潤滑剤・図面について理解させる。

《授業の概要・授業方針》

後二軸車の軸荷重についてフレームの機能として、外力、軸重の計算を学習する。

材料・燃料・潤滑剤・図面について学習する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	25.0
科目名	自動車工学2	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 自動車新技術

《授業科目概要》

エンジン車とハイブリッド車との違いを学ぶ

《授業の目的・目標》

ハイブリッド車について理解させる。

《授業の概要・授業方針》

ハイブリッド車の概要として、種類、特徴、及び、構造・機能、点検・整備について学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	25.0
科目名	自動車工学3	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 自動車新技術

《授業科目概要》

圧縮天然ガス自動車について学ぶ

《授業の目的・目標》

圧縮天然ガス自動車について理解させる。

《授業の概要・授業方針》

圧縮天然ガス自動車の基礎、種類、及び、構造・機能、点検・整備について学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	10.0
科目名	総合診断	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車総度診断・環境保全・安全管理 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

総合診断に関する「受付」、「問診」、「診断」について習得する。

《授業の目的・目標》

国家1級小型整備士の口述試験合格を目指す。

《授業の概要・授業方針》

お客様役から問診することで、車両の故障状態を推測するため更に詳細の問診が出来るようにする。それには日ごろから車両故障の状態を把握できるように学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度+学習態度+人物評価+レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	50.0
科目名	電子工学	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 エンジン電子制御装置

《授業科目概要》

電気回路について学ぶ

《授業の目的・目標》

電気回路について理解させる。

《授業の概要・授業方針》

電気回路として、電気回路と電子回路の基本、電気回路の故障、電気・電子回路の測定技術について学習する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	4年 前期	授業時間数	20.0
科目名	経営学	実務経験教員	無
担当教員	宮部 原一郎		

《使用教科書・参考図書》

実務入門 よくわかるマーケティング入門（日本能率協会マネジメントセンター）

《授業科目概要》

マーケティングについて学ぶ

《授業の目的・目標》

マーケティングの基本的要素を理解する。

《授業の概要・授業方針》

自動車業界におけるマーケティング及び自動車整備業界におけるサービスマーケティングについて学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	4 年 前期	授業時間数	80.0
科目名	自動車概論	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

《授業科目概要》

自動車構造整備全般について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び職場での自動車整備作業において必要な各種新技術の構造・機能の理解、注意点等の知識を養う。

《授業の概要・授業方針》

現在の自動車の構造・機能は、安全・環境保全の対策に加えてエンジン性能及び操縦安定性の向上や快適性を重視するため、各装置の電子制御化が進み、今後ますます高度化、多様化する傾向にあるので、これらの技術全般についての学習をする。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 前期	授業時間数	42.0
科目名	エンジン本体D	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車新技術 2 級ジーゼル自動車

《授業科目概要》

エンジンのO/Hを行い作業の完成度を高める。

ジーゼルエンジンの特長を捉え、安全作業をする。標準化された作業手順で効率良く行う。

《授業の目的・目標》

ジーゼルエンジン搭載の大型車両の整備技術向上及びガソリンエンジンとの違いを想定した基本作業の習得。部品単体の特長、構造、作動の理解と共に完成検査の正確性の確保。

《授業の概要・授業方針》

ガソリンエンジンとの相違点を明確に理解し、故障個所の早期発見のコツを習得する。

安全作業の重要性を自覚し、自ら注意喚起し作業に必要な工具が想定出来て、速やかに準備が出来る。又、作業計画を立て、それに沿って進行出来る。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	エンジン本体G	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車新技術 1 級自動車整備士エンジン電子制御装置

《授業科目概要》

筒内噴射式ガソリン・エンジン搭載車のエンジンをO/Hを行い通常エンジンとの違いを理解する。

《授業の目的・目標》

作業の正確さ、迅速さを意識し効率の向上を目指すと共に複数人による作業を経験し、関係の重要性を自覚する。

《授業の概要・授業方針》

エンジン脱着の安全作業、効率的な手順を経験により習得する等、基本作業から応用的作業を工夫する手法を会得する。更に不安全な作業を発見し、積極的に是正する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 後期	授業時間数	42.0
科目名	サスペンション	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

2級自動車シャシ

《授業科目概要》

サスペンションについて各装置ごとに分解点検を行い構造作動について理解し、診断方法について学ぶ

4輪アライメントについて車両テストを使用して理論・調整方法について学ぶ

《授業の目的・目標》

サスペンションの基本構造を実車を参考に理解する。故障発生頻度の高い箇所について、起こりうる不具合を考察する。

《授業の概要・授業方針》

アライメントテスト使用時、複数人で効率良い作業を行う、また作業の目的を全員が共有する。標準値を超えた場合の車両に発生する具体的症状を考察する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	ステアリング装置	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車新技術 2 級自動車シャシ

《授業科目概要》

電動パワステ、反力制御式パワーステアリングについて車両を用いて作動・制御方法を理解し診断方法について学ぶ。

油圧式と比較した場合の利点、欠点を研究する。

《授業の目的・目標》

電氣的制御を計測機器を用いて確認し、故障時の安全退避機能のしくみを理解する。又、0/H 後の初期設定の必要性を研究する。更に、自己診断機能の要領について理解する。

《授業の概要・授業方針》

分解作業前に正常状態を確認しておく事、作業時の注意事項について予め確認し、仕損等の事故を防ぐ。油圧式機構と比較した場合の評価をし、優位性を理解する。又、故障時の制御を波形で正常時と比較し、違いについて研究する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 前期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	ブレーキ装置	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士シャシ電子制御装置 1 級自動車整備士自動車新技術 2 級自動車シャシ

《授業科目概要》

油圧ブレーキについて各装置ごとに分解点検を行い構造・作動を理解し診断方法について学ぶ
ABS、ヨーコントロールについて車両を用いて制御方法理解し点検診断方法を学ぶ

《授業の目的・目標》

主に車両のブレーキ装置を教材とし、油圧式装置と比較しながら、その違いを車種の使用目的に照らし、理解する。また、電子制御に関わる装置については診断器を用いて、その使用方法を習得する。

《授業の概要・授業方針》

複数人で作業をすることを基本とし、関係を密にすること、工夫することを常に意識し作業性の向上を計る。制動装置の重要性を認識し、正確な作業を心掛けする。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	応用電装	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級シャシ電子制御装置自動車整備士 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

オートエアコン、安全装置 (エアバッグ、シートベルト等) における機能及び作動を理解するとともに各センサの点検、故障診断力を身につける

《授業の目的・目標》

オートエアコンに関係するセンサ、アクチュエータ、ECU を学び全体のシステムを理解させ、1 級整備士試験の合格を目指す。

《授業の概要・授業方針》

オートエアコン全体を習得する。センサ、アクチュエータ回路から始まり、整備に関する内容まで広い範囲まで理解させ応用力を身につけさせる。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 前期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	基礎電装	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

2 級ガソリン自動車整備士 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

高精度テスターの機能、取扱について学ぶ
オルタネータ、スタータ等の性能試験を行い総合判定を行う

《授業の目的・目標》

授業科目概要の内容を習得することで国家 1 級自動車整備士に合格させる。

《授業の概要・授業方針》

従来とは違う低燃費型電装品を学び、単体性能試験まで実施し良否判定までを行うことで、電気回路の応用力を養う。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 前期	授業時間数	24.4
科目名	検査作業	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

法令教本 (公論出版) 1 級自動車整備士エンジン電子制御装置

《授業科目概要》

自動車の検査を出来るようにする。

《授業の目的・目標》

継続検査時の検査車両が、検査基準になるよう調整を出来るようになること。

《授業の概要・授業方針》

国の行う継続検査の実施要領、指定自動車整備事業における車検整備の実務を保安基準・検査基準を踏まえて指導し、自動車検査を総合的に理解させる。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	故障探求 1	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士エンジン電子制御装置 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

外部診断機により電子制御式燃料噴射装置 (G, D) の総合判定及び難解故障診断力を身に付ける

《授業の目的・目標》

エンジン制御で基本的なセンサ、アクチュエータなどを習得させ 1 級小型自動車受験の基礎を作り上げる。

《授業の概要・授業方針》

外部診断機を使用してセンサ、アクチュエータの特性を調べ、各運転状態による信号特性を測定及び記録させ

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	故障探求 2	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士シャシ (日本自動車整備振興会連合会) HV・EV の技術解説 (公論社)
 1 級自動車整備士自動車新技術 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

シャシ電装 (電子制御 CVT、電子制御サスペンション等) の総合判定について学ぶ
 また、整備技術力の向上及び難解故障診断力を身に付ける

《授業の目的・目標》

新技術テキストに採用させているシャシ電装を学ぶことで、1 級小型整備士の合格を目指す。

《授業の概要・授業方針》

CVT の分解、組立などを行い無段変速機の構造を理解する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	35.0
科目名	故障探求3	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士シャシ電子制御技術（日本自動車整備振興会連合会）

《授業科目概要》

振動、音の発生メカニズムを理解する
振動、騒音を分析し提言方法を学ぶ

《授業の目的・目標》

振動・騒音の種類、分析を習得し、国家1級小型自動車の合格を目指す。

《授業の概要・授業方針》

振動・騒音の特徴や種類を習得し、分析器を用いて測定した音や振動の分析をし、その内容を計算式を用いて裏付けをとる。これにより発生原因を推定まで推定することが出来る。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 前期	授業時間数	1 4 . 0
科目名	工作作業	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

基礎自動車整備作業

《授業科目概要》

手仕上げ作業及び機械工作作業を行う。

《授業の目的・目標》

整備に必要で比較的簡単な材料・部品の加工などができるようになる。

《授業の概要・授業方針》

整備に必要で比較的簡単な材料・部品の加工などができるようになる。
安全作業を心掛ける。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	6 . 0
科目名	自動車検査	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士シャシ電子制御技術 (日本自動車整備振興会連合会) 法令教本 (公論社)

《授業科目概要》

自動車整備関係通達及び道路運送車両法について学ぶ

《授業の目的・目標》

車両法及び保安基準について実技を通して理解させ、国家 1 級小型整備士の合格を目指す。

《授業の概要・授業方針》

国の行う継続検査の実施要項、指定自動車整備事業における車検整備の実務を保安基準・検査基準を踏まえて指導し、自動車検査を総合的に理解させる。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 前期	授業時間数	1 4 . 0
科目名	測定作業	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

基礎自動車整備作業 3 自動車ガソリンエンジン編 3 級自動車シャシ編

《授業科目概要》

エンジンの構成部品の測定を行うことにより各部の摩耗状態を確認すると共に調整作業を行い、効果の確認をする。サービスデータを参考に良否判定を行い、最終的な修復作業を行った後完成検査により出来栄を評価する。

《授業の目的・目標》

測定値を基に部品の良否判定を行い、基準値を超える部分を調整し正規に修正する。
摩耗量が多くなる現象を考察し、部品、各部の精度の重要性を理解し、測定作業を習熟する。

《授業の概要・授業方針》

自主性と積極性を重視し工夫する意識を定着させ、使用状況との因果関係の考察から原因を追究する手段を取得する。又、反復訓練による測定技術の向上を高める。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	動力伝達	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士シャシ電子制御装置

《授業科目概要》

電子制御A/Tについて車両を用いて制御系等の点検を行い診断方法について学ぶ
診断器による点検方法を習得し、速やかな不具合解消に役立てる。

《授業の目的・目標》

故障時の問診技術を身に付け、理論的な判断による故障個所の特定を行う。又、故障を設定し不
具合発見の訓練を行い故障の早期発見による予防整備への対応を学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

車上状態時及び、単体脱着後の点検を作業前に計画し、整備データ、整備に関する注意事項を明
確にしておく。完成検査時の要領を理解し正確に行い、不具合解消に至らない場合の再点検方法
を取得する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 後期	授業時間数	42.0
科目名	特殊機構	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車新技術 2 級ガソリン自動車エンジン編 2 級ジーゼル自動車エンジン編

《授業科目概要》

ハイブリッド車・CNG車を用いて他種車両との違い・作動について理解し、点検方法・診断方法について学ぶ。

ガソリンエンジン、ジーゼルエンジンと比較した優位点、必要とされる背景の考察。

《授業の目的・目標》

それぞれの基本的原理と、従来車と比較した利点、欠点を研究すると共に、単体部品を確認し、独自性を実感する。構造、機構に沿った整備技術の取得、研鑽と基礎的技術から応用された知識に基づく見識を深める。

《授業の概要・授業方針》

自主的な研究による能力の向上、専門用語を理解し部品単体の役割を研究する。

将来的な周辺技術開発の可能性を考察する、更に、整備性の向上に向けた技術的な余地を探る。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 後期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	燃料装置D	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士エンジン電子制御装置 1 級自動車整備士自動車新技術 2 級ジーゼル自動車エンジン編

《授業科目概要》

分配型ポンプの脱着を行い、取付け時の調整方法・診断方法について学ぶ。
 コモンレール式の点検を行い作動を理解し点検方法・診断方法について学ぶ。
 車種ごとの供給方法の違いを調べ、その理由を研究する。

《授業の目的・目標》

専用工具の使用方法を反復訓練により習得する、更に計測による部品の良否判定を行う。
 調整後のエンジン性能評価を行い、故障箇所頻度による形式別ポンプの因果関係を考察する。

《授業の概要・授業方針》

複数人作業時、関係の取り方を確認し、診断器の活用で故障特定に役立てる。又、周辺環境を整え安全作業を徹底し、ジーゼルエンジンの環境に対する影響から将来的な発展を考察する。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3 年 前期	授業時間数	4 2 . 0
科目名	燃料装置G	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士エンジン電子制御装置 2 級ガソリン自動車エンジン編

《授業科目概要》

電子燃料噴射装置について車両別に入力出力信号等の点検を行い制御方法を理解し診断方法について学ぶ。

診断器の使用方法を習得し、その活用によりリアルタイムで制御される変化を読み取る。

《授業の目的・目標》

燃料噴射に関わる、総合的な装置の関連性を理解し、故障時の迅速な特定を O・B・D を活用し行う。センサー類の単体点検を行い、不具合時の燃料噴射に対する影響を実験する。更に、車両別の機構に関する共通性、互換性を研究する。

《授業の概要・授業方針》

個別に作業し、効率、正確性を互いに評価し、診断器の正しい取り扱いを習得する。正常時、異常時の制御値の違いを理解し故障発見を速やかに行うと共に点検個所を効率的に順番付けし、作業性を向上させる。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)

授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	4 年 前期	授業時間数	1 4 . 0
科目名	ビジネスマナー	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車総合診断・環境保全・安全管理 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

社会人としての最低限のマナーとルールを身につけ、明確なビジネス意識を持った人財を育成する

《授業の目的・目標》

国家 1 級整備士学科試験の 2 部で口述試験に合格するため。

《授業の概要・授業方針》

社会人としての常識全般を習得させる。特に一級口述試験でアドバイザー役で受験する時に、少しでも言葉づかいや、会話の組み立てがスムーズに出来るようにする。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	4 年 後期	授業時間数	35.0
科目名	基礎実習	実務経験教員	有 (ディーラー) 5 年、17 年、11 年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

<<使用教科書・参考図書>> 1 級自動車整備士自動車総度診断・環境保全・安全管理 (日本自動車整備振興会連合会)
<<授業科目概要>> 体験実習で得た基礎的な整備技術・知識を再確認する 社会人としての心得や接客マナー・教育マナーを確認する
<<授業の目的・目標>> 点検作業や社会人の心得をテキストと比べ再確認させいつ 1 級口述試験の対策方法として理解させる。
<<授業の概要・授業方針>> 設定された故障内容、整備させた整備内容を、例題などを含めて理解させる。 最終的に自分で定期点検を行い、その整備内容の説明をできるようにする。
<<成績基準・評価基準>> 90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可) 授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	4年 後期	授業時間数	602.0
科目名	総合実習	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

- 1 級自動車整備士エンジン (日本自動車整備振興会連合会) 法令教本 (公論社)
- 1 級自動車整備士シャシ電子制御技術 (日本自動車整備振興会連合会)
- 1 級自動車整備士自動車新技術 (日本自動車整備振興会連合会)
- 1 級自動車整備士自動車総度診断・環境保全・安全管理 (日本自動車整備振興会連合会)

《授業科目概要》

体験実習で得た基礎的な整備技術・知識を再確認する
 多種多様な事象を体験し修得した幅広い知識・技能を確認する
 一級整備士資格相当の知識・技術をベースにした経験の蓄積

《授業の目的・目標》

国家1級小型自動車整備士の合格

《授業の概要・授業方針》

自分のこれまで得た知識及び技能を持って整備作業に限定せず、教材作りや、新たな装置の製作など、型にとらわれないで取り組める環境も提供する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	一級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	4年 後期	授業時間数	70.0
科目名	卒業研究	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

《授業科目概要》

企業実習を終えて企業のもつ問題点・改善点等について研究する。

《授業の目的・目標》

企業実習を終えて企業のもつ問題点・改善点について研究し、また故障診断等最新技術に対応できる知識・技能の修得や将来的な活用方法について研究・発表することを通してプレゼンテーション能力の向上をはかることを目標とする。

《授業の概要・授業方針》

企業実習を終えて、企業のもつ問題点・改善点や故障診断等最新技術に対応できる知識・技能の修得、将来的な活用方法について研究する。これを基にプレゼンテーションを行なうためリハーサルと更なる研究を行ない、発表することを通してプレゼンテーション能力の向上をはかる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	4年 前期	授業時間数	210.0
科目名	体験実習	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、17年、11年
担当教員	雨谷 俊宏 平根 清一 沼口 洋 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

1 級自動車整備士自動車総度診断・環境保全・安全管理（日本自動車整備振興会連合会）

《授業科目概要》

学校で修得した整備技術（点検整備・故障原因探求・総合診断）や知識を活かし体験実習をする故障診断など最新技術に対応できる知識・技能・接客マナーを身に付ける

《授業の目的・目標》

定期点検整備の進め方、車検整備の進めたか、お客様対応について異常のことについて、判断力を身につけ、技術向上を目指す。

《授業の概要・授業方針》

指定工場又は認証工場での就業時間中でのインターンシップを行う。知識・技能・接客マナーを身に付けることは勿論のこと仕事の流れや、フロント業務でお客様対応を見学しスムーズな対応も習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	一級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	20.0
科目名	情報技術3	実務経験教員	無
担当教員	長谷川 福子		

《使用教科書・参考図書》

FOM出版 よくわかる Power Point 2016 基礎

《授業科目概要》

プレゼンテーション技術について基礎から学ぶ

《授業の目的・目標》

社会においてビジネスの様々な場面でプレゼンテーションが行われている。このプレゼンテーション技術の修得を目標とする。

《授業の概要・授業方針》

社会で利用されるプレゼンテーション技術を、他のアプリケーションソフトとの違いなどを付け加えながら、修得させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	12.0
科目名	構造機能	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	舘 雅実 近馬 克之 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

乗用車の主流となっているモノコック構造やフレーム付構造を持つ自動車の種類、構造、機能について学ぶ

《授業の目的・目標》

自動車車体への要求事項、車体の種類の種類について学ぶ。モノコック・ボデー、フレームの形状による分類、名称は国家試験に多数出題されるのでしっかりと理解させる。

《授業の概要・授業方針》

乗用車とトラックの構造・機能、使用材料、プレス加工、各部名称について学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	12.0
科目名	材 料	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">館 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

自動車を構成する材料には、多くの材料があるため材料構成、諸性質などを学ぶ

《授業の目的・目標》

自動車を構成する材料にはきわめて多くの種類があり、それらは使用目的に応じた諸性能、量産性、経済性、リサイクル容易性などの制約によって適宜、選択採用される。その、材料の種類、性質などを理解する。

《授業の概要・授業方針》

自動車材料を大きく分別すると、金属材料と非金属材料とに大別される。このうち金属材料は単一元素として用いられることは少なく、合金として使用されるが、その種類、性質を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	10.0
科目名	自動車検査	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	舘 雅実 近馬 克之 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

車体整備に関する検査及び自動車点検基準について学ぶ

《授業の目的・目標》

損傷の状況が1台ごとに異なるため、車両の損傷状態を診断し、適切な作業方法を決める。更に整備作業が確実に実施されたかどうかを検査することで、整備の質が維持されることを理解させる。

《授業の概要・授業方針》

作業を実施する場合、作業完了後の整備内容の適否を診断する場合に、共通する基礎的な注意事項について学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 後期	授業時間数	67.0
科目名	総合演習	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">館 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

車わく及び車体整備に関する総合演習について学ぶ

《授業の目的・目標》

損傷診断について、損傷の程度や、損傷の範囲を正確に診断・把握することができ、精度の高い車体整備を実施できるよう学習する。

《授業の概要・授業方針》

車わく及び車体整備の総まとめとして、総合演習課題に的確に取り組めるようになること。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 後期	授業時間数	10.0
科目名	損傷診断	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">館 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

損傷発生の力学的考察及びボデー・フレームの衝撃波及と損傷傾向、また、衝撃吸収のための各様の構造的対策について学ぶ

《授業の目的・目標》

損傷が発生している部品の構造、素材について確認しながら学習する。また、発生している損傷状態を的確に把握しその後の作業工程を考慮することができるように学習する。

《授業の概要・授業方針》

乗用車、トラックの構造の違いによる損傷診断について説明する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	30.0
科目名	塗装 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">館 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

塗料の構成・塗料の種類・使用目的及び危険物の取扱い、塗装工程や塗装条件及び樹脂部品の保全と作業者の安全衛生について学ぶ

《授業の目的・目標》

塗装材料、環境の保全と作業者の安全衛生、塗料の取り扱い、管理について学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

車体整備に従事する者が塗装作業について理解しておかなければならない項目について理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 後期	授業時間数	25.0
科目名	塗装Ⅱ	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">館 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

補修塗装を理解すると共に、塗膜の欠陥と対策について学ぶ

《授業の目的・目標》

補修塗装について、補修車両の旧塗膜や板金部位の状態が点検でき、素地調整から上塗りまで、適切な材料を用いて確実な工程を組み立てられるように学習する。

《授業の概要・授業方針》

教科書を参考に補修塗装の種類、工程を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	40.0
科目名	板金 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	舘 雅実 近馬 克之 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

損傷の種類及び損傷部分に生じる応力などを学び、車体整備を行っていくうえで必要な基礎知識を学ぶ

溶接機（ミグ・スポット、ガス溶接機など）の構造や作動原理および使用目的などについて学ぶ

《授業の目的・目標》

電気抵抗スポット溶接が自動車に用いられる理由、注意事項などを理解する。また、ガス・シールド・アーク溶接、ガス溶接についても同様に理解する。

《授業の概要・授業方針》

国家試験出題頻度が高い内容なので、過去問などを参考に的を絞った授業をする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 後期	授業時間数	40.0
科目名	板金Ⅱ	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	館 雅実 近馬 克之 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

復元作業を行ううえで車体制度の確保（計測の重要性）や、車体強度の確保及び車体の安全性について理解を深め、計測器や修正機器および車体整備について学ぶ

《授業の目的・目標》

測定作業に使用するゲージの種類、正しい計測技法を習得し、各種計測器を駆使し、正しいボデー・アライメントの精度を回復する作業を習得する。

《授業の概要・授業方針》

使用頻度の高いトラム・トラッキング・ゲージ、フレーム・センタリング・ゲージを用いた測定作業を理解する。

また、曲がりの種類についても理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	12.0
科目名	力 学	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	館 雅実 近馬 克之 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

聖研出版社 計算問題を解くノウハウ 自動車整備士2級・3級
 車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

自動車力学及び過重分布などを学ぶ

《授業の目的・目標》

自動車の強度、力学について国家試験対策として学力アップを目指す。
 軸重、はりの曲げモーメントを中心に実施。

《授業の概要・授業方針》

軸重、はりの曲げモーメントの考え方について過去問などを活用し、授業を進める。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 後期	授業時間数	27.2
科目名	自動車検査	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">舘 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

車体の整備と、作業後に必要な検査について学ぶ

《授業の目的・目標》

損傷の状況が1台ごとに異なるため、車両の損傷状態を診断し、適切な作業方法を決める。更に整備作業が確実に実施されたかどうかを検査することで、整備の質が維持されることを、実作業を通して理解する。

《授業の概要・授業方針》

作業を実施する場合、作業完了後の整備内容の適否を診断する場合に、共通する基礎的な注意事項について実作業を通して学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 後期	授業時間数	153.0
科目名	総合実習	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">舘 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

総合的に復習し、車体整備の理解を深める

《授業の目的・目標》

今年度学んだ内容についてリヤ・クォータ・パネル交換などの作業を行いながら復習、応用をし、より現場での作業に近い実習を実施する。

《授業の概要・授業方針》

年間実習内容の再確認を行う。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 後期	授業時間数	27.2
科目名	損傷診断	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	舘 雅実 近馬 克之 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

損傷の程度や範囲を正確に把握し、効果的な作業をするための知識を学ぶ

《授業の目的・目標》

実作業を通して、損傷が発生している部品の構造、素材を学び、その損傷状態を的確に把握させる。また、作業に必要な各種の板金用器具と使用方法を学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

損傷した車両を診断し材料の損傷特性、衝突態様の分類と損傷特性、衝突時に車両に加わる力について考えさせる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 前期	授業時間数	136.0
科目名	塗装 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">舘 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

塗装用具・機器及び塗料の取扱い、下塗り・中塗り塗装工程について学ぶ

《授業の目的・目標》

パテ作業終了からプラサフ塗装作業を通して、溶剤の取り扱い上の注意、塗装工程、スプレー・ガンの取り扱いについて理解する。

《授業の概要・授業方針》

ドア単体を用いて、パテ作業からマスキング作業、プラサフ塗装が行えるように実習を行う。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 後期	授業時間数	74.8
科目名	塗装Ⅱ	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">舘 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

塗料の調色及び様々な補修塗装を学ぶ

《授業の目的・目標》

補修塗装について、補修車両の旧塗膜や板金部位の状態が点検でき、素地調整から上塗りまで、適切な材料を用いて確実な工程を組み立てられるように学習する。

《授業の概要・授業方針》

実作業を通して、補修塗装の種類、工程を理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 前期	授業時間数	204.0
科目名	板金 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">舘 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

板金工具・機器の取扱い及び整備の本曾となる板金作業について学ぶ
容積機（ミグ・スポット・ガス溶接機など）の取扱い及びそれぞれの溶接技術を学ぶ
樹脂パーツの補修工程について学ぶ

《授業の目的・目標》

ミグ・アーク溶接、スポット溶接、ろう付けについて教科書を参考に実作業を経験し、溶接技術を習得させる。また、溶接欠陥、注意事項についても学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

上の各溶接について、技術の向上を目指す。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 前期	授業時間数	91.8
科目名	板金Ⅱ	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年 6年
担当教員	<p style="text-align: center;">舘 雅実 近馬 克之</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 車体自動車整備士</p>		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

計測器、修正機などの取扱いについて学ぶ

計操作業を行い損傷の程度や狂いの生じた部分を確認し、これからの行う修正作業について学ぶ

計測結果に基づき、修正作業やカット取り替え作業について学ぶ

《授業の目的・目標》

実車を使用し、正しい計測技法を習得し、各種計測器を駆使し、正しいボデー・アライメントの精度を回復する作業を習得する。

《授業の概要・授業方針》

使用頻度の高いトラム・トラッキング・ゲージ、フレーム・センタリング・ゲージを用いた測定作業について、正確な誤差の無い作業を目標にする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	実 習
開講期	3年 前期	授業時間数	20.0
科目名	情報技術3	実務経験教員	無
担当教員	長谷川 福子		

《使用教科書・参考図書》

FOM出版 Power Point 2016 基礎

《授業科目概要》

プレゼンテーション技術について基礎から学ぶ

《授業の目的・目標》

パワーポイントを使用し、プレゼンテーション用の資料作りが出来ることを目標に学習する。

《授業の概要・授業方針》

基本的なPCの使用方法を再確認し、新にパワーポイントを理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する